特別史跡　国宝・重要文化財　世界遺産

姫路城保存活用計画

姫 路 市

はじめに

私たち姫路市民の誇りであり、本市のシンボルでもある姫路城は、築城されて以来、近世から近代、現代と移り行く激動の時代の中でも、人々のたゆまぬ努力により、現在も美しい姿を保ち続けており、その優雅さは今を生きる私たちの心を捉えてやみません。

このように大切に守られてきた姫路城は、中曲輪内が特別史跡に、大天守をはじめとする82棟の建造物が国宝あるいは重要文化財に指定されており、平成5年に我が国初の世界遺産に登録されてから、30年が経過しました。

グローバル化の急速な進展に伴い、様々な分野で世界のつながりが深まる中、近年、姫路城には世界中から観光客が訪れており、日本の文化や文化財に対する関心の高まりと、世界に認められた姫路城の価値を改めて実感することができます。

このような中、平成30年に文化財保護法が改正され、文化財の保存管理と活用の理想的なサイクルを構築する必要性が改めてクローズアップされています。

これまで本市では、「特別史跡姫路城跡整備基本構想」を基に特別史跡と国宝・重要文化財建造物、それぞれの計画を策定し、保存管理や活用に努めてきましたが、世界遺産姫路城の保存継承は、特別史跡や、国指定建造物の保存活用に留まらず、周辺整備も欠くことのできない密接不可分な要素であることから、この度、それぞれの計画を一元化し、世界遺産の視点も取り入れた「姫路城保存活用計画」を策定しました。

今後も世界の宝物である「姫路城」を未来の世代に引き継いでいくためには、市民の皆さまだけでなく、国内外のすべての人々が一緒になって、姫路城の保存活用について考えていくことが必要不可欠です。

このような考えのもと、これからも先人たちの想いを胸に、市民の皆さま、国内外の皆さまと協働しながら、本計画に基づき、引き続き姫路城の保存管理を確実に進めるとともに、周辺地域も含めた活用を図り、姫路城を将来の世代に確実に引き継いでまいりますので、皆さまのさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

なお、本計画の策定におきましては姫路城保存活用計画認定検討会議委員の皆さまをはじめ関係者の皆さまにご協力を賜り、また、市民の皆さまからもご意見、ご提案をいただきました。心から御礼を申し上げます。

令和7年（2025年）3月

姫路市長　清元秀泰

目　次

第１章　保存活用計画策定の沿革と目的

第１節　計画策定の沿革 …… 1
第２節　計画策定の目的 …… 3
第３節　計画策定にかかる検討組織・経緯 …… 4
第１項　検討組織
第２項　検討の経緯
第４節　計画の位置付け …… 6
第１項　計画の位置付け
第２項　他計画との関連
第５節　計画の対象とする区域及び実施 …… 11
第１項　計画の対象とする区域
第２項　計画の作成者
第３項　計画の実施

第２章　姫路城を取り巻く環境

第１節　市勢の概要 …… 13
第２節　自然的環境 …… 14
第１項　地形・地質
第２項　気候・植生
第３節　社会的環境 …… 16
第１項　人口
第２項　財政指標
第３項　観光
第４項　交通網と交通結節機能
第４節　歴史的環境 …… 24
第１項　古代～中世
第２項　近世
第３項　近・現代

第３章　姫路城の概要

第１節　姫路城の概要 …… 29
第１項　姫路城の位置
第２項　姫路城の歴史
第３項　姫路城の構造
第４項　姫路城保存の経緯

第２節　指定等の経緯 …… 56
第３節　特別史跡の指定状況 …… 57
第１項　指定告示
第２項　指定説明文とその範囲
第４節　国宝・重要文化財（建造物）の指定状況 …… 63
第１項　指定告示
第２項　指定説明文とその配置
第５節　管理団体の指定状況 …… 70
第６節　法令等による保護の状況 …… 72
第１項　文化財保護法
第２項　都市計画法、都市公園法
第３項　景観法、景観条例、屋外広告物条例
第４項　その他の法令
第７節　特別史跡指定地の状況 …… 76
第１項　土地所有の状況
第２項　土地利用の状況
第３項　公有化・施設移転等の経緯
第８節　姫路城以外の歴史文化遺産 …… 82
第１項　歴史的建造物等
第２項　周知の埋蔵文化財包蔵地
第３項　史料

第４章　姫路城の本質的価値と構成要素

第１節　姫路城の本質的価値 …… 91
第１項　本質的価値の明示
第２項　新たな価値評価の視点の明示
第２節　姫路城の構成要素 …… 93
第１項　姫路城の構成要素の分類
第２項　諸要素の分類
第３項　地区・区域の区分の設定
第４項　各区域における諸要素の概要

第５章　姫路城の現状と課題

第１節　保存管理・活用整備の経緯 …… 133
第１項　特別史跡姫路城跡整備管理方針等に基づく保存管理・活用整備の状況
第２項　特別史跡姫路城跡の事業実施状況
第３項　特別史跡全体の課題
第２節　保存管理の現状と課題 …… 142
第１項　各区域における諸要素の現状と課題
第２項　本質的価値を構成する主たる要素の現状と課題
第３項　姫路城の管理・防災の現状と課題

第４項　姫路城の植生等の現状と課題
第５項　姫路城における景観保全の現状と課題
第６項　調査研究等の現状と課題
第３節　活用の現状と課題 …… 194
第１項　特別史跡全体の現状と課題
第２項　公開、情報発信、教育・学習支援等の現状と課題
第３項　活用に関する諸施設等の現状と課題
第４節　整備の現状と課題 …… 214
第１項　特別史跡全体の現状と課題
第２項　内曲輪の現状と課題
第３項　中曲輪の現状と課題
第４項　外曲輪及びバッファゾーン等の現状と課題
第５節　運営・体制の現状と課題 …… 220
第１項　市の組織体制の現状と課題
第２項　関係団体との連携・協働の現状と課題
第３項　歴史文化遺産を未来に伝える人材の育成の現状と課題

第６章　大綱・基本方針

第１節　大綱 …… 227
第１項　往時の姿の設定
第２項　地区区分ごとの将来像
第２節　基本方針 …… 229

第７章　保存管理

第１節　保存管理の方向性 …… 231
第２節　特別史跡等の保存管理 …… 233
第１項　特別史跡等の保護の方針
第２項　現状変更等
第３項　現状変更等が認められない行為
第４項　現状変更等の許可等に関する取扱い
第５項　特別史跡における現状変更等の取扱方針
第６項　姫路城の構成要素の保存管理の方針と現状変更等の取扱基準
第７項　曲輪の保全
第８項　石垣の保全
第３節　保存に係る区域の拡大・公有化 …… 246
第１項　特別史跡指定区域の拡大
第２項　土地の公有化
第４節　国指定建造物の保存管理 …… 248
第１項　国指定建造物の保護の方針
第２項　修理計画
第３項　保護に関する諸手続き

第５節　管理・防災計画 …… 263
第１項　管理計画
第２項　防災（防火・防犯）計画
第３項　防災設備整備計画
第４項　耐震対策
第５項　耐風等対策
第６項　本丸等区域以外の特別史跡における管理・防災計画
第６節　姫路城の植生等の管理 …… 277
第１項　植生管理
第２項　外来生物等
第７節　姫路城の景観保全 …… 280
第１項　基本目標
第２項　基本方針
第３項　景観保全の方法
第８節　調査研究等の推進 …… 283
第１項　歴史史料等調査
第２項　発掘調査
第３項　建造物調査

第８章　活用

第１節　活用の方向性 …… 285
第２節　活用の方法 …… 286
第１項　姫路城の構成要素を適切に公開し、往時の姿を伝える
第２項　姫路城の本質的価値や歴史的変遷をわかりやすく、広く伝える
第３項　姫路城の価値や魅力を継承・醸成する取り組みを実施する
第３節　国指定建造物の公開 …… 293
第１項　計画条件の整理
第２項　管理運営計画

第９章　整備

第１節　整備の方向性 …… 299
第１項　往時の姿を体験できる空間整備
第２項　地区ごとの整備の方向性
第３項　姫路城の動線の構築と周遊性の向上
第２節　整備の方法 …… 302
第１項　各地区の整備方法
第２項　各区域の整備方法

第10章　運営・体制の整備

第１節　運営・体制の方向性 …… 319
第１項　総合的な保存管理・調査研究・事業推進体制の構築
第２項　多様な主体が連携・協働する体制の構築
第３項　歴史文化遺産を未来に伝える人材の育成
第２節　運営・体制の整備の方法 …… 320
第１項　総合的な保存管理・調査研究・事業推進体制の構築
第２項　多様な主体が連携・協働する体制の構築
第３項　歴史文化遺産を未来に伝える人材の育成

第11章　世界遺産

第１節　登録の経緯 …… 325
第１項　世界遺産条約
第２項　世界遺産への登録
第２節　資産の価値 …… 328
第１項　世界遺産姫路城の概要
第２項　顕著な普遍的価値
第３節　緩衝地帯 …… 334
第１項　緩衝地帯の役割
第２項　緩衝地帯設定の考え方
第３項　緩衝地帯保全の方法
第４節　世界遺産の保全 …… 338
第１項　世界遺産保全の方針
第２項　遺産影響評価
第３項　保全状態等に関する定期報告等の概要
第４項　姫路城の保全状態等に関する定期報告

第12章　施策の実施計画の策定・実施

第１節　施策の実施計画 …… 341
第２節　中長期に実施すべき計画 …… 342

第13章　経過観察

第１節　経過観察の方向性 …… 345
第２節　経過観察の方法 …… 345

付属資料

・用語解説 …… 349